

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		ウエイトトレーニング講習会事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 020401000076	
		総合計画の施策名 O204 生涯スポーツ活動の振興				単独/補助		090501	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり			主要事業		所属課	
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興			市長マニフェスト		スポーツ振興課	
	手段名	01	①スポーツをする機会の充実			未来PJ事業		グループ	
						合併建設計画事業		スポーツ振興G	
予算科目		財務会計上の位置付け				事業期間			
会計		款	項	目	事業	細	一般会計		
01		10	07	02	01	00	単年度繰返し (平成6年度~)		
法令根拠						体育館管理事業(岩)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>トレーニングジム所在 桜川市岩瀬2685-14岩瀬体育館内</p> <p>機械の種類 エアロバイク・ランニングマシン・腹筋台・トレーニング補助器具</p> <p>【事務事業の内容】 トレーニングジムを利用したい人を対象に、効果的かつ安全な利用ができるようウエイトトレーニングの基礎知識を習得し、器具の正しい使い方について講習会を実施する。市民に広報等で呼びかけ講習会を案内し参加者を募集。</p>
	<p>【担当者が行う業務の手順】 参加者の募集・参加者の取りまとめ・講師派遣依頼・講習会開催(年3回(7月・11月・3月) 開催日には午前・午後1回ずつ開催)・手順説明</p> <p>【事業費の内訳】 報償費(講師謝礼)</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
トレーニングジムを利用したい人を対象に、効果的かつ安全な利用ができるよう基礎知識を習得し、器具の正しい使い方について講習会を実施する。市民に広報等で呼びかけ講習会を案内し参加者を募集。	講習会開催数	回	3.00	3.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
桜川市民(在勤者を含む)	桜川市人口(常住人口)	人	41,278.00	40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
効果的かつ安全に利用できるようウエイトトレーニングの基礎知識を習得する。器具の正しい使い方を習得する。	ウエイトトレーニング受講者数	人	211.00	238.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	61	0	62	0
	事業費計(A)	千円	61	0	62	0
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

30年度事業費実績(千円)

01年度事業費予算(千円)

			08 報償費	60		
			11 需用費	2		
			合計	0	合計	62

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	ウエイトトレーニング講習会事業	事務事業No.	20401000076	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

岩瀬体育館が平成6年に開館し、翌年からトレーニングジムの有効利用及び基礎知識、器具の利用方法を習得させるために実施している。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

住民からは、無料開放の要望、トレーニング器具老朽化による取り換え等、スペースの拡大、専門員の指導(トレーニング実習時)等の要望がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

・講習会受講生からのリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・安全に利用できるようなウエイトトレーニングの基礎知識を習得し、器具の正しい使い方をマスターするという意図は、継続してトレーニングをした場合、健康・体力の増進につながるという結果に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・受講者がウエイトトレーニングの基礎知識を習得し、器具の正しい使い方をマスターすることで、利用者の運動効果もあり器具の適正な使用にもつながる。また、健康に対する運動習慣を意識づけることができる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	・講習会受講生からのリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていかなければならない。 ・講習会は年3回の開催のため、利用希望者の受講機会が限られている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・正しい器具の使い方、使用手順が習得できないため、器具類の故障にもつながり筋肉障害を起こしやすいことになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がないため統廃合・連携はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・1回当りの受講生を多く募集し、年4回の講習会を年3回としたことで、講師謝礼は削減された。人件費については、これ以上の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・1回(2時間以内)の使用料200円(70歳以上の人は半額減免)を徴収し、受益者負担をいただいております。事業の内容が一部に偏っているとはいえない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・講習会受講生からのリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていかなければならない。経年劣化等により器具不足が生じているため器具を新しくしてほしいとの要望がある。 ・講習会は年3回の開催のため、利用希望者の受講機会が限られている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
・運動習慣を身に着け、継続して行うことの重要性を啓発していくとともに、不具合箇所の整備や器具の更新により、利用者の安全性・満足度を高めていく。 ・現在、講習会は年3回日曜日に開催しているが、利用者を増やしていくため利用希望者の要望である平日開催を検討する。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑧																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>